

認知症作業療法 活動計画（概要）

佐賀県作業療法士会はOT協会（地域社会振興部 地域事業支援課 認知症対策班）の組織改編を受け、今年度より「地域共生推進局 認知症支援委員会」として新たにスタートいたしました。今後も協会の重点活動項目に沿った取り組みを継続・発展させるために、12名の委員で連携を図りながら取り組みを進めて参ります。認知症に関連した研修会や派遣事業を通して会員の自己研鑽を図り、よりよい認知症支援に繋げることを目指しています。また、佐賀県作業療法士会では、県・市町からの依頼を受け、認知症初期集中支援事業や認知症カフェ事業等に県士会員を派遣しています。佐賀県5地区に当委員会の担当者を配置し、各地区における認知症関連事業の現状把握と繋がり強化に努めています。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

- 認知症の人と家族の会が主催するイベントに協力しています。昨年度は佐賀駅前交流広場で「ミュージックinアルツハイマーデー」と題しコンサートと街頭宣伝活動を行い、県士会員がギターと三線を演奏しました。今年度も街頭宣伝活動とコンサート企画に参加協力予定です。
- 江北町の啓発イベント「オレンジフェス～やさしさに染まるまち～」に県士会員を派遣し、キャンドルホルダー作りのワークショップを行い、当日は定員を超えるほどの大盛況でした。

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会が主催する認知症カフェが佐賀市、伊万里市で毎月開催されており、県士会員を派遣しています。また、毎年開催されている定期総会の出席や世話人代表と連絡が取り合える体制を構築し、迅速に対応できるように取り組んでいます。

佐賀県・市町からの委託事業および認知症研修会、委員会事業

- 佐賀県健康福祉部から委託を受け「認知症ケアに携わる者のリハビリテーション研修会」を毎年開催しています。昨年度は計10回の研修会を行い、延べ322名が受講されました。今年度も11月からの開催に向け、企画・運営を進めています。
- 小城市（年12回）、鹿島市、江北町、大町町（それぞれ年6回）より認知症カフェの委託を受け、毎回3～6名の県士会員を派遣しました。また、小城市より認知症評価事業（年2回）の委託を受け、毎回2名を派遣しました。認知症カフェに関しては、今年度も4市町より委託を受けており、企画・運営を行っています。
- 佐賀市・唐津市・伊万里市より認知症初期集中支援事業にチーム員の推薦依頼があり、県士会員を派遣しました。
- 福祉用具専門相談員指定講習に「からだところの理解（認知症の理解と対応）」というテーマで、講師を派遣しました。
- 吉野ヶ里町の認知症サポーター養成講座に県士会員を派遣しました。受講者は、講座受講後にスーパーに出向き、買い物支援の実習に臨み各グループに分かれて認知症当事者の買い物に付き添いました。



認知症カフェの様子